

# 2021 年度研究大会

## 10月16日(土)、17日(日)

### 大阪大学・箕面キャンパスにて開催

### 自由論題報告募集

2021年の研究大会は、10月16日(土)・17日(日)に大阪大学・箕面キャンパス(箕面市船場東 <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/oumode/minohnewcampus/minohmobility/view>)にて開催されます。研究大会の情報に関しては、随時、学会ウェブサイトを通じてご案内します。なお、新型コロナウイルス感染症関連の状況によっては、開催の時期・形態の変更(延期、オンライン開催など)もあり得ることをご了承ください。

#### 1. 共通論題テーマ:「旧ソ連、東欧のジェンダーの諸相」(仮)

2021年度研究大会では旧ソ連及び東欧のジェンダーの状況に焦点を当てます。ジェンダーに関して多岐にわたる分野で研究が行われています。ロシア・東欧学会に隣接する学会でもジェンダー関係の研究にたずさわる、あるいは関心のある人は年々増えているように思います。しかし、ロシア・東欧学会において共通論題のテーマやジェンダーに特化した発表はこれまでなかったと言っても過言ではないと思います。そこで、今回の共通論題では、旧ソ連、東欧のジェンダー研究をできるだけ幅広く議論し、この機会にジェンダー研究を広く発信できればと考えています。具体的には、ジェンダーの諸相を過去編と現在編に分け、歴史、文化、社会、経済、政治等の分野の専門家の報告を予定しています。詳細についてはプログラムで発表いたします。(企画委員長・五十嵐徳子)

\*2021年度の研究大会企画委員は、以下の会員で構成されています(五十音順)。

五十嵐徳子(委員長)、神原ゆうこ、小森宏美、中村唯史、藤原克美、溝口修平

#### 2. 自由論題報告募集(6月30日締め切り)、若手会員には旅費等を支給

自由論題報告を希望される会員は、①氏名、②住所、③電話番号、④所属、⑤報告タイトル、⑥報告要旨(約400字)を6月30日(水)(必着)までに企画委員会・五十嵐のメールアドレス([nrigaras@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:nrigaras@sta.tenri-u.ac.jp))へメールでお知らせ下さい。なお、応募者多数の場合は、企画委員会にて人数調整を行う場合があります。また上記の通り、大会の時期・形態に変更があり得ることにご留意ください。

自由論題報告を行う若手会員に旅費等の助成を行っています。5万円を上限として、交通費、宿泊費、懇親会費などが助成の対象となり、飛行機を利用したパック旅行も適用されます。院生はもとより、専任・常勤職を持たない40歳未満の若手会員も対象となります。また、2020年度以前に助成を受けた方も再応募は可能ですが、2021～2023年度の間利用は一回のみとなります。応募する方は、報告の採択後に、学会サイトの「研究大会」ページ(<https://www.jarees.jp/convention/>)に記載の要領に従って、学会事務局会計担当宛て申し込んでください。多くの若手会員の皆様のご利用をお待ちしております。